

【介護サービス係】

○訪問介護事業所

訪問介護事業所では、新型コロナウイルスの感染拡大の影響として、利用者の自宅への訪問に細心の注意を払いつつ、利用者の生活が今まで通り安全・安心に継続できるようにサービス提供を行ってまいりました。新型コロナウイルス感染症の予防対策として、訪問時の利用者の体調確認を行い、利用者にはマスクの装着をお願いしました。ヘルパーは、検温・手洗い・手指消毒を行い、予防衣（エプロン）・手袋・マスクの装着。身体介護時は、フェイスシールドを着けてサービスを行いました。

毎月1回ヘルパー連絡会を開催し、ケアマネージャーとの連絡・連携、訪問しているヘルパーの援助の確認・意見交換を行い、常に最新の利用者情報の共有を図り、日々の変化に対応し、適切な援助が行われるよう努め、定期的な事業所内研修を行いました。そして、地域個別ケア会議にも参加し、町や地域と連携の強化や知識・情報の習得に努め、また他事業所のケアマネージャーとの親交を深める機会も持つように致しました。しかし新型コロナウイルス感染防止のため、介護講座受講などの外部研修は、感染対策を実施されている講座の参加に留まりました。

日常生活支援では、自立支援と重度化の防止の観点から、利用者の出来る部分に着目して、家事を自分で出来るように工夫して声かけ促し、見守りを行う、自立生活支援の為の見守りの援助に取り組み、一人暮らしや認知症で日常的な生活支援や見守り、臨機応変な対応が必要なケースや、ご家族が自宅での看取りを望んでおられたケースなども訪問致しました。

訪問介護事業（要介護者）の訪問時間数は昨年より 160.49 時間減少。介護予防日常支援総合事業（要支援者・事業対象者）の訪問時間数は昨年より 105.08 時間減少しています。

事業所としては、サービス提供責任者の定着、後継者の確保ができず、また、登録ヘルパー自身の高齢化、そして増員ができない状態が続いておりました。介護保険制度の始まった平成12年4月に開設し、20年続いていた訪問介護事業ではありましたが、5月末日を以って廃止と致しました。利用者様・ケアマネージャー様には、事前に訪問介護事業所廃止のことを訪問して説明させていただき、引き継ぎの事業所を確保していただきました。

令和２年度 実績

訪問介護事業所	平成３１年度	令和２年度	比較
訪問介護事業	2306.93 時間（164 件）	2146.44 時間（142 件）	△160.49 時間
介護予防・日常生活支援事業	999.08 時間（226 件）	894 時間（221 件）	△105.08 時間
身体障害者居宅介護事業	261.5 時間（12 件）	251.5 時間（12 件）	△10 時間
移動支援事業	23.8 時間（6 件）	0 時間（0 件）	△23.8 時間
合計	3591.31 時間（408 件）	3291.94 時間（375 件）	△299.37 時間（△33 件）

研修・会議実績

R 2 年 4 月 2 8 日	第 1 回ヘルパー連絡会・・・コロナ感染拡大のため中止		
R 2 年 5 月 2 6 日	第 2 回ヘルパー連絡会・ヘルパー研修会 ・倫理及び法令遵守に関する研修 ・プライバシー保護の取り組みに関する研修 ・接遇に関する研修 ・事故発生・緊急対応に関する研修	5 名	あざさ苑 会議室
6 月 2 3 日	第 3 回ヘルパー連絡会・ヘルパー研修会 ・安全管理（事後発生・再発防止）についての研修 ・事故事例・ヒヤリハット事例等事故防止の事例検討	5 名	あざさ苑 会議室
7 月 2 8 日	第 4 回ヘルパー連絡会	6 名	あざさ苑 会議室
8 月 2 8 日	第 5 回ヘルパー連絡会・ヘルパー研修会 ・認知症ケアについて	5 名	あざさ苑 ボランティア室

9月29日	第6回ヘルパー連絡会	4名	あざさ苑 会議室
10月27日	第7回ヘルパー連絡会・ヘルパー研修会 ・感染症及び食中毒の予防及びまん延防止に関する研修 (新型コロナ感染の対応)	5名	あざさ苑 栄養指導室
11月5日	外部研修 床ずれ発生のメカニズムと安楽な体位	1名	奈良県介護実習・普及センター
11月18日	外部研修 認知症の基礎知識 認知症の人への接し方について	1名	奈良県介護実習・普及センター
11月24日	第8回ヘルパー連絡会・ヘルパー研修会 ・新型コロナ感染拡大にむけての研修	6名	あざさ苑 和室
12月17日	外部研修 ストップ！その食生活は本当に大丈夫？	1名	奈良県介護実習・普及センター
12月22日	第9回ヘルパー連絡会	5名	あざさ苑 会議室
R3年1月26日	第10回ヘルパー連絡会	5名	あざさ苑 会議室
2月23日	第11回ヘルパー連絡会	8名	あざさ苑 会議室
2月25日	自立支援型地域ケア会議	2名	あざさ苑 研修室
3月18日	自立支援型地域ケア会議	2名	あざさ苑 研修室
3月24日	第12回ヘルパー連絡会	9名	あざさ苑 会議室

○居宅介護支援事業所

居宅介護支援事業所では、令和２年度もご利用者の想いに寄り添い、ご自宅で安全・安心に生活できるように介護事業所や医療機関と連携し、サービスの提供を行ってまいりました。

担当利用者の状況では、昨年度に比べ少し増加しております。介護度別でみると、要介護４や５といった重度の方は入院・入所などにより解約が起こる事があり、減少傾向が見られます。担当利用者の状況としては、年齢や能力的に介護の負担が増えてくる要介護１～３といった利用者が増加傾向にあります。近年は自立支援に向けたサービスの提供が望ましいこともあり、要支援の利用者は地域包括支援センターの事業や取組みに繋がっているように思われます。

居宅介護支援事業所として、利用者の様々なニーズへの対応や退院時の受入などの困難ケースが増えていることも見受けられ、職員としても地域ケア会議への参加やケアマネ会議、その他様々な研修会に参加し、職員の質の向上が求められますが、令和２年度は新型コロナウイルスの流行のため、奈良県のほとんどの研修が中止となっており、三宅町のケアマネ会議や磯城郡３町合同のケアマネ会議も中止となり、施設でのリハビリ会議、退院前のカンファレンスや各利用者の担当学会議も開催されないか、簡易なものへ変更され、施設外の方は参加できないという状況でした。

<令和２年度参加研修及び会議>

日	時	内	容
令和２年	１１月	１８日	新型コロナウイルス感染症に関わる研修会
	２月	２５日	担当利用者の地域ケア会議参加
	３月	１８日	担当利用者の地域ケア会議参加

※その他、三宅町のケアマネ会議、年２～３回の磯城郡３町合同ケアマネ会議、１～３か月に１度のリハビリ会議への参加、病院との退院前カンファレンス会議、各利用者の担当学会議を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大のため、中止または簡素化されております。

<年間延べ利用者数>

	要介護利用者数	要支援利用者数	新規契約数	認定調査請負数
平成31年（令和元年）度	655名	224名	27名	16件
令和2年度	665名	215名	31名	17件

<利用者内訳>

	総合事業 対象者	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
平成31年（令和元年） 3月終了時点	2	5	9	16	20	13	5	5	75
令和2年 3月終了時点	3	7	12	20	19	12	5	3	81